



株式会社ノリタケカンパニーリミテド 平成28年3月期 決算説明会

説明者

代 表 取 締 役 社 長 小 倉 忠
取 締 役 常 務 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 長 加 藤 博

*本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

1

本日の内容

1. 平成28年3月期 連結決算の概要
2. 平成29年3月期 業績予想
3. 第10次中期3力年計画の概要

連結子会社

連結	23社	増減なし
持分法	4社	増減なし

連結決算の概要

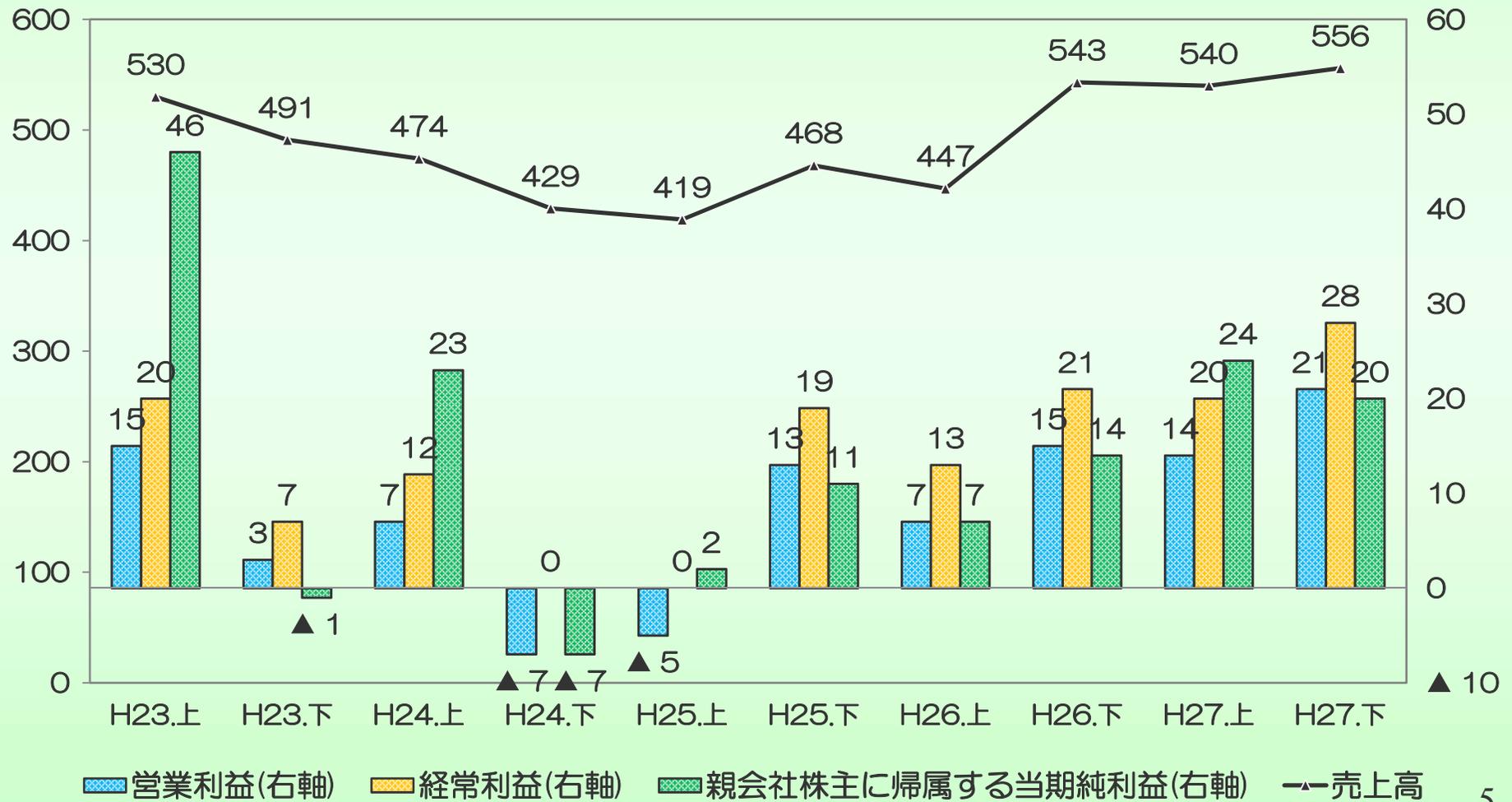
(単位：億円)

	H27/3	H28/3	対前年比
売上高	990	1,096	+10.7%
営業利益	22	34	+57.4%
経常利益	34	48	+41.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	21	44	+114.3%
1株利益	14.34円	30.73円	
配当	6円	6円	

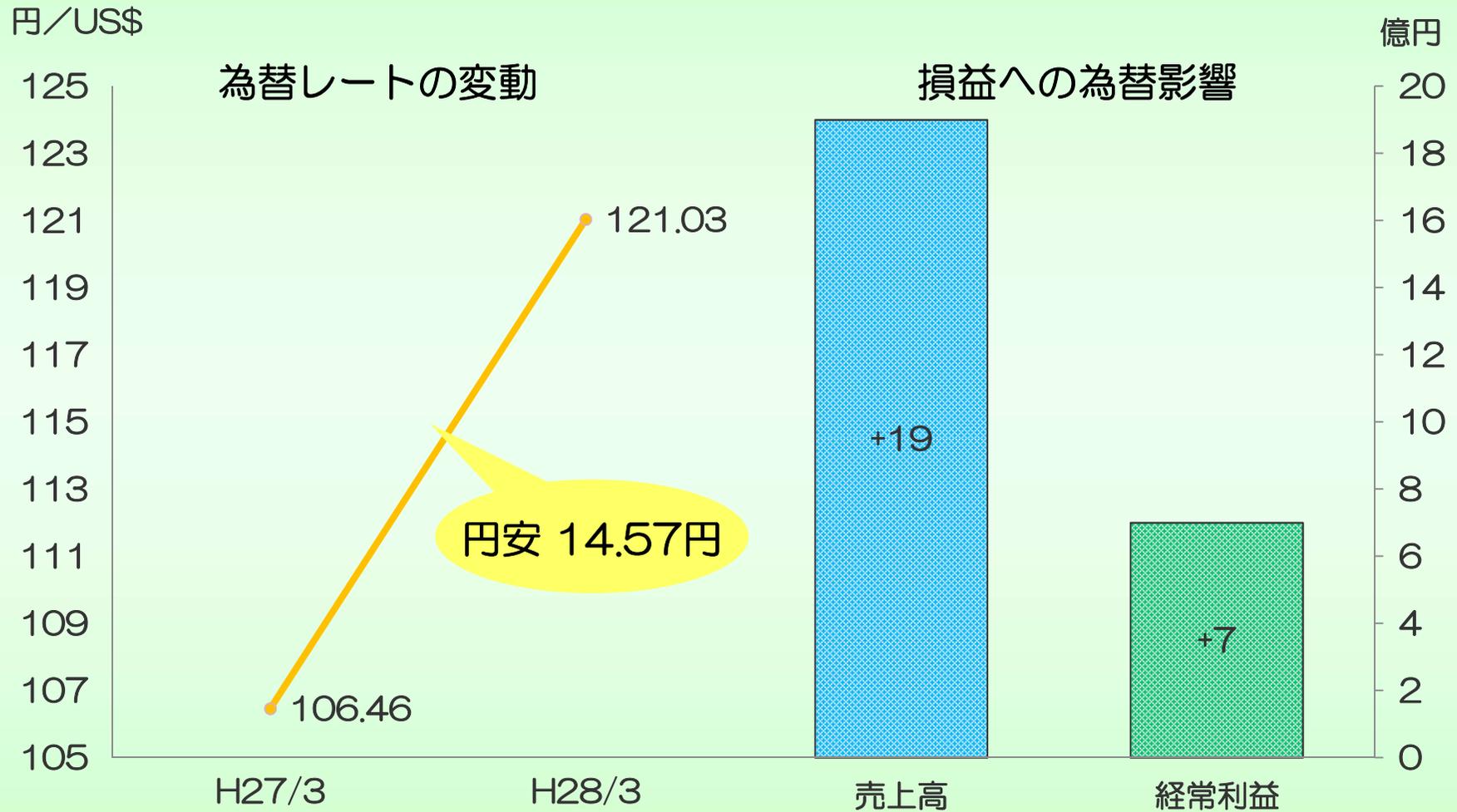
連結損益の推移

単位：億円

単位：億円



為替の影響



連結経常利益の変動要因

H27年3月期 経常利益 34億円



増加要因 19億円

売上高の増加 2億円

合理化改善の効果 2億円

粗利益率の改善 2億円

為替の影響 7億円

新規連結子会社の影響 4億円

持分法投資損益の増加等 2億円

減少要因 Δ 5億円

販売費一般管理費の増加 Δ 2億円

工場勘定の悪化 Δ 3億円

H28年3月期 経常利益 48億円

特別損益

(特別利益)		<u>14.9億円</u>
内訳	固定資産売却益	14.7億円
	投資有価証券売却益	0.2億円

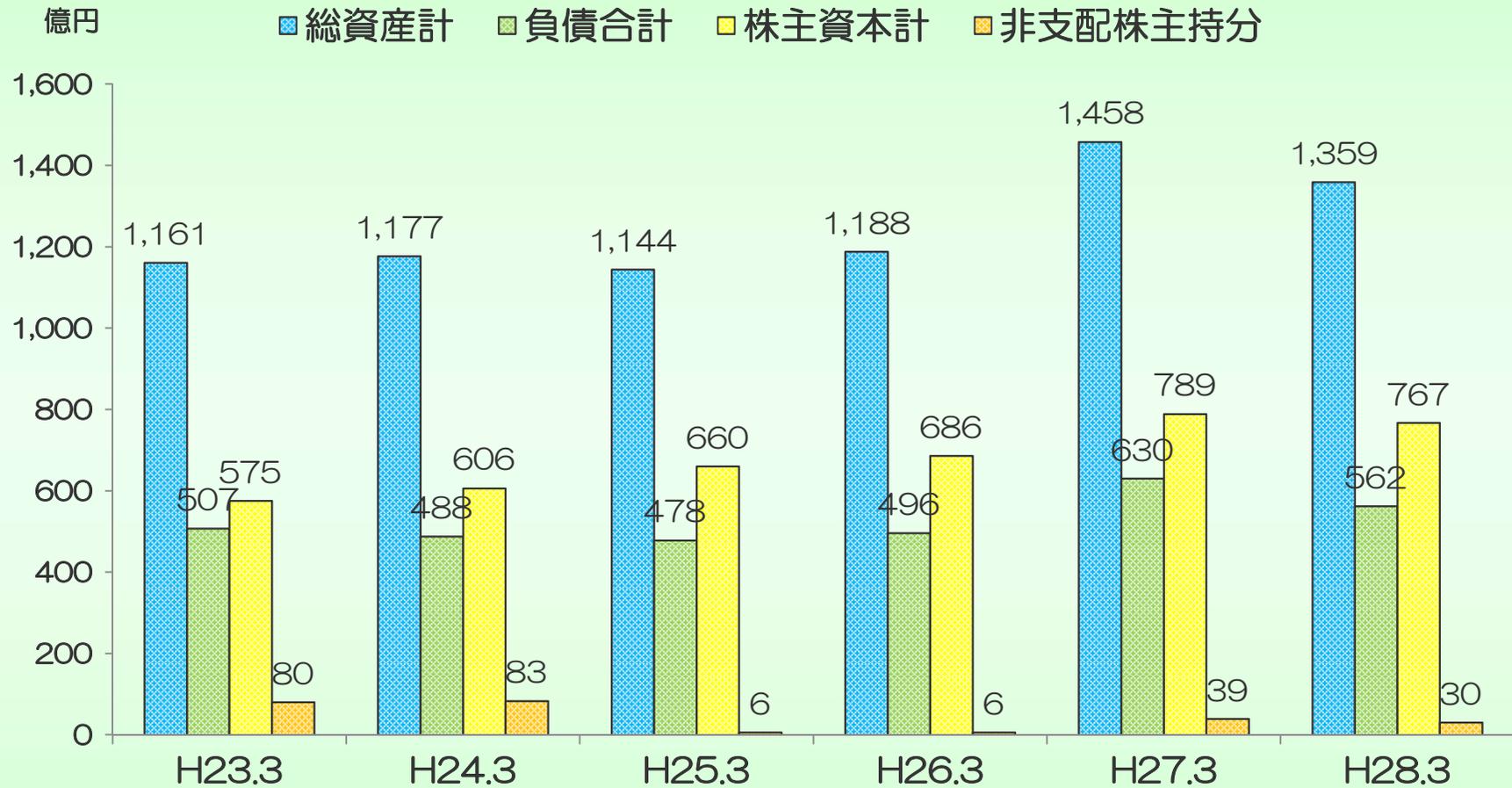
(特別損失)		<u>5.9億円</u>
内訳	固定資産処分損	2.3億円
	固定資産減損損失	3.6億円

比較貸借対照表

(単位：億円)

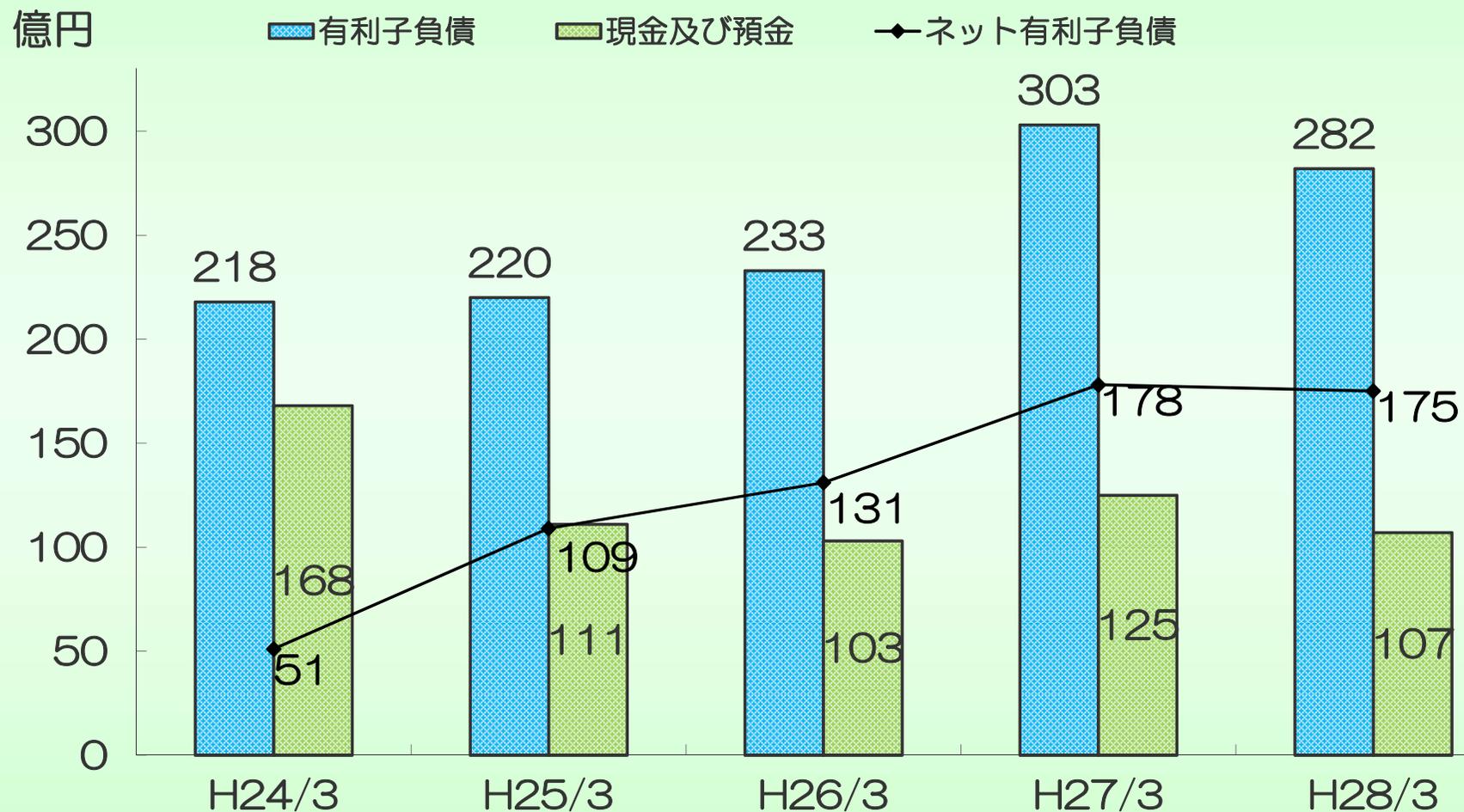
	H27/3	H28/3	増減
総資産	1,458	1,359	△99
流動資産	614	604	△10
固定資産	845	755	△90
負債	630	562	△69
純資産	828	798	△31
(内、非支配株主持分)	(39)	(30)	(△9)
一株当り純資産	550円	535円	△15円

貸借対照表残高の推移



	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3
株主資本比率	49.5%	51.5%	57.7%	57.8%	54.1%	56.5%

有利子負債残高



キャッシュフロー

(単位：億円)

	H27/3	H28/3	対前年比
営業活動によるCF	51	61	+10
(内、法人税等)	(Δ12)	(Δ12)	(+0)
投資活動によるCF	Δ63	Δ40	+23
フリーキャッシュフロー	Δ12	21	+33
財務活動によるCF	27	Δ39	Δ66
(内、長短借入金純増減)	(36)	(Δ20)	(Δ57)
現金及び同等物残高	106	86	Δ20

12

連結従業員数

単位：人	H27/3	H28/3	対前年比
国内 正規従業員計	3,017	2,980	△37
海外 正規従業員計	2,072	2,074	+2
正規従業員-合計	5,089	5,054	△35
平均臨時雇用者数	798	830	+32

セグメント別動向

— 事業概況 —

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN工具 研磨布紙

セラミック・マテリアル

電子ペースト 厚膜回路基板 石膏・コア・担体
蛍光表示管 セラミック原料 電子部材

エンジニアリング

乾燥・焼成炉 濾過装置 超硬丸鋸切断機

食器

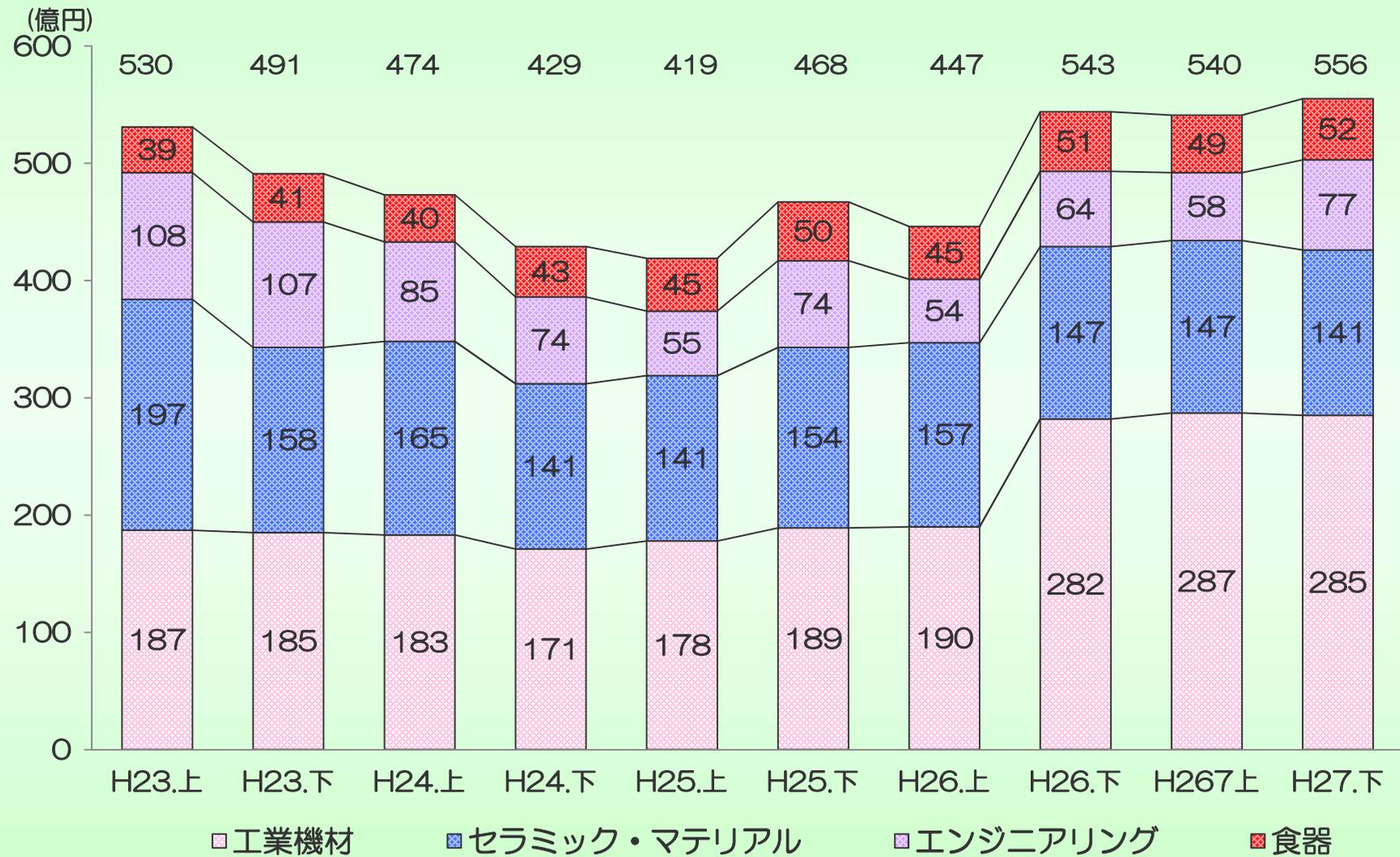
米州 欧亜 国内

セグメント別売上高（前年度比較）

（単位：億円）

	H27/3	H28/3	対前年比
工業機材	472	572	+21.2%
セラミック・マテリアル	304	288	△5.2%
エンジニアリング	118	135	+13.9%
食器	96	101	+5.6%
合計	990	1,096	+10.7%

セグメント別売上高推移



セグメント別営業利益

(単位：億円)

	営業利益		営業利益率	
	H27/3	H28/3	H27/3	H28/3
工業機材	9.0	17.2	1.9%	3.0%
セラミック・マテリアル	15.4	16.1	5.1%	5.6%
エンジニアリング	2.8	4.7	2.3%	3.5%
食器	△5.3	△3.5	△5.5%	△3.4%
合計	21.9	34.5	2.2%	3.1%

工業機材事業

(単位：億円)

売上高	H27/3	H28/3	対前年比
研削砥石	154	157	+2
日本レチボン製品	86	181	+95
ダイヤ・CBN工具	125	131	+6
研磨布紙	70	69	△1
関連商品	37	35	△2
合計	472	572	+100

セラミック・マテリアル事業

(単位：億円)

売上高	H27/3	H28/3	対前年比
電子ペースト	73	55	△18
コア・担体	14	14	0
石膏	26	28	+2
厚膜回路基板	29	24	△5
蛍光表示管	45	46	+0
共立セラミック原料	66	68	+1
共立電子部材	50	55	+4
合計	304	288	△16

19

エンジニアリング事業

(単位：億円)

売上高	H27/3	H28/3	対前年比
乾燥・焼成炉	80	97	+17
濾過装置	15	14	△1
研削機械	15	11	△3
スタティックミキサー	9	12	+3
合 計	118	135	+16

食器事業

(単位：億円)

売上高	H27/3	H28/3	対前年比
米州	28	28	0
欧亜	25	28	+3
国内	43	46	+2
合計	96	101	+5

本日の内容

平成29年3月期 連結業績予想

平成29年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	H28/3 実績			H29/3 予想				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期増減	増減率
売上高	540	556	1,096	530	560	1,090	△6	△0.6%
営業利益	14	21	34	8	16	24	△10	△30.4%
経常利益	20	28	48	15	23	38	△10	△20.5%
特別損益	+10	△1	+9	△1	△2	△3	△12	-
税前利益	30	27	57	15	21	35	△22	△38.4%
当期利益	24	20	44	9	15	24	△20	△45.6%
US\$為替	121.03円			110.0円				

セグメント別業績予想

(単位：億円)

工業機材	H28/3	H29/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	572	280	290	570	△2
営業利益	17	3	7	10	△7

セラミック・マテリアル	H28/3	H29/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	288	135	150	285	△3
営業利益	16	6	9	15	△1

セグメント別業績予想

(単位：億円)

エンジニアリング	H28/3	H29/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	135	65	70	135	0
営業利益	5	2	2	4	△1

食器	H28/3	H29/3 予想			
	実績	上期	下期	通期	増減
売上高	101	50	50	100	△1
営業利益	△3	△3	△2	△5	△2

本日の内容

第10次中期経営計画の概要

第10次中期経営計画の課題及び目標

経営課題：

急速に変化し、益々競争が激化するグローバル市場において、安定した収益と成長が期待できる事業体制、経営体制の構築を目指します。

経営目標（長期目標）：

- ① 売上伸長率 年率5%
- ② 営業利益率 5%
- ③ 海外販売比率 50%
- ④ ROE 5%以上
- ⑤ 自己資本比率 50%以上維持

第10次中期経営計画の基本戦略

- ① 製造・販売・技術が一体となって営業活動を推進することで、シェアを拡大するとともに、新しい市場の開拓を進めます。
- ② 新商品・新技術の開発によって市場競争力を高め、売上の拡大を図ります。
- ③ 海外生産拠点の整備と海外市場の開拓を進め、事業の拡大を図ります。
- ④ 経営インフラを整備し、経営体制の強化を図ります。

第10次計画の連結業績目標（セグメント別）

（単位：億円）	売上高	営業利益
工業機材	620	17
セラミック ・マテリアル	315	21
エンジニアリング	155	7
食器	110	0
合計	1,200	45

主な事業戦略 工業機材

- 自動車、エネルギー、情報機器、医療など先進・成長分野向けの新商品開発を迅速に進めるとともに、国内や海外のサービス体制を強化し、用途・分野・地域それぞれの単位で、シェアの拡大を目指します。
- 需要地域ごとに生産拠点や販売拠点を整備、強化し、グローバルな事業推進体制を構築します。

主な事業戦略 セラミック・マテリアル

- 電子ペースト事業においては、車載用MLCC、インダクタなど電子部品分野での新商品開発と新規需要開拓に取り組みます。
- セラミックス事業では、建材用石膏の東南アジア地域での拡販、担体の次世代製品の開発、タッチスイッチ、タッチパネル等電子表示関連の新商品開発と新市場開拓を進めます。
- 共立マテリアルは、MLCC用材料のシェア拡大と、燃料電池材料等の新商品開発に取り組みます。

主な事業戦略 エンジニアリング

- 自動車関連分野や電子部品材料分野での新商品 開発と新規開拓に取り組み、拡販を図ります。
- 海外販売体制を構築し、事業の拡大を目指します。

主な事業戦略 食器

- 国内、米州では、高品質で洗練された商品を充実させるとともに、提案力を強化して拡販を図ります。
- アジア、中近東地域では、営業体制を整備、強化して、市場開拓を推進します。
- 新商品の開発スピードの向上と生産体制の効率化に取り組みます。

その他

- 管理部門は、事業のグローバル化を支える 体制整備を進めます。
- グループ全体で、ものづくり強化活動のレベルアップを図ります。